

かお・人インタビュー

2018年 5月11日(金)

(一社)福岡市設計測量業協会防災委員会

福澤一博 委員長 に聞く



平成29年7月5日、朝倉市や東峰村付近で雨量110mmの記録的・短時間の大雨によって、未曾有の災害が発生。当協会では、被災地支援として朝倉市に出向き、被災見舞いととも、災害義援金を寄贈した。大雨による甚大な被害は言葉で表せないほど、地形も大きく変わり、立ちすくむ思いであったという。現地の復旧復興に向け、当協会は朝倉市の要請に応じて、協会員の測量設計の技術力を結集し、復旧の一助を担って災害支援に取り組むこととなった。この災害支援活動で中心となって取り組んだ協会防災委員会の福澤一博委員長に話しを聞いた。

◎委員長が見た現地の状況はいかがでしたか

まずは、九州北部豪雨災害で亡くなられた方や被災された方々に心からのお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い地域の復旧復興が進みますようお祈り申し上げます。

私も協会関係者は、約1ヶ月後の平成29年8月8日に朝倉市役所杷木支所に集合し、査定に向け

での注意事項や査定写真の撮り方等の講習会があり、その後、実施演習として白木谷川の被災現場に赴いたのですが、河川の場合が全く判別できず、橋のガードレールの上端がわずかに確認できるだけでした。また、周りを見渡すと家の屋根だけが見えるところや、ワンボックスカーが土砂に埋まり、

上部だけが見えるだけの悲惨な現場を目の当たりにしました。

私も約35年間、コンサルタントの技術者として数多くの災害現場に立ち会いましたが、このような酷い被災状況は初めての経験です。どこから手をつければよいのか、どこを測量すればよいのか判断できませんでした。



◎具体的な支援活動はどのような内容でしたか

朝倉市からの災害支援要請は、公共土木施設災害（市道、市管理河川）と農業施設災害（農地、農業施設）の査定に向けた測量設計の業務依頼でありました。朝倉市における公共土木施設災害は市道、河川併せて約660箇所、農業施設災害が約2000箇所被災しましたが、そのうち協会には、甚大な災害が発生した杷木地区の道路、河川、橋梁と甘木地区の農業施設災害の査定設計業務についての依頼がありました。支援協力が可能な会員（測量設計業者延べ40社）で

対応し、市道259箇所、河川92箇所、橋梁10橋、農業施設災害91箇所の災害査定設計業務等を実施。杷木地区においては、赤谷川、白木谷川、北川と大きな被害が発生した地区であり、当初は道路が寸断され、現地に行くこともままならない困難な状況でありました。また、測量においては、危険箇所2箇所をドローンで写真撮影・図化を試みましたが、立木等に遮蔽されたため、現地調査が的確に反映されず、実測との差異が大きくなったこともありました。

◎災害支援活動における今後の課題と教訓について

現在、福岡市や福岡県では測量・設計の分割発注がほとんどで、当協会でも測量主体の会社と設計主体の会社に分かれています。以前は、設計に測量が付随した発注形態であったため、測量会社と設計会社が一つの業務を一緒に行っていたが、分割発注となっているため、測量会社と設計会社がある意味で疎遠になっているように感じられます。

測量を先行し、測量が終わった箇所に設計会社を張り付けて、査定設計を進めましたが、測量の見方と、設計の見方の違いによって、被災箇所の起終点に差異や手戻りなどが多く発生し、朝倉市の担当者にもご迷惑をおかけしたと反省しています。また、道路災害の査定設計はできるが、河川災害の経験がなく対応できないという会社も多数ありました。

今後は、災害対応に当たって、測量・設計の会社をペアにし、現地踏査、起終点の確認等を両社合同で行えるようにしていきたいと思います。また、河川災害に対する査定設計の勉強会等も実施していかなければいけないとも考えています。

朝倉市を襲ったような「線状降水帯」による豪雨災



害はいつどこで起こっても不思議ではありません。福岡市でも起こらない保証はありません。当協会では、災害復旧に関する連絡網演習や勉強会を通して会員の技術力向上を図っていきたいと考えています。

◎防災委員会では、道路危険箇所調査なども実施していますが、どのような活動ですか

福岡市道路下水道局の依頼で、「道路の破損等の情報提供」として平成26年度から1年に1回、協会員が一斉に危険箇所の調査を実施しています。平成29年度までの4年間で福岡市内の全体約90%にあたる318.3km²近くを調査し、危険箇所が2,987箇所となっています。この調査を通じて、福岡市民の安全、安心に貢献して

いきたいと思っています。また、福岡市と締結した「防災支援活動に関する基本協定」に基づいて、防災支援活動の演習を行うとともに、万全の体制を整え、専門技術集団として技術の研鑽を積み重ね、地域に精通した企業特性を発揮し、地場協会としての役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。



【プロフィール】

出身地：福岡県春日市

生年月日：昭和33年7月27日生（59歳）

最終学歴：福岡大学工学部土木工学科卒

「趣味は魚釣り、博多湾の防波堤などで

釣りをしながらのビールは最高ですよ」



【会社概要】

株式会社 スリーエヌ技術コンサルタント 代表取締役社長

所在地：福岡市博多区堅粕4丁目24番14号 トステムビル4階